

# 技術・家庭科（家庭分野） 1年生

## 1 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

## 2 家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。



**自分の生活を、自分の力で工夫しながら、より良い生活にできる力をつける!!**

## 3 3年間の主な内容

### A 家族・家庭生活

- 自分の成長と家族や家庭生活との関わり ○家族・家庭の基本的な機能
- 幼児の生活と家族 ○家族・家庭や地域との関わり など

### B 衣食住の生活

- 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ○中学生に必要な栄養を満たす食事
- 日常食の調理と地域の食文化 ○衣服の選択と手入れ
- 生活を豊かにするための布を用いた製作 ○住居の機能と安全な住まい方 など

### C 消費生活・環境

- 金銭の管理と購入 ○消費者の権利と責任 など

## 4. 評価の観点と方法

知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身に付けているか。	定期テスト、実技テスト、実習・実技の手際の良さ・正確性、作品・レポートの完成度、ワークシート
思考・判断・表現	これからの生活を見通し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善しようとするなどして課題を解決する力を身につけているか。	定期テスト、ワークシート、作品製作への取組方作品・レポートへの取組内容
主体的に取り組む態度	家族や地域の人々と共に協力し、よりよい生活の実現や持続可能な社会を築くために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているか。	作品製作の自己評価用紙、発表、ワークシート、学習への取り組みの様子（家庭学習含む）

## 5. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	ガイダンス 【A 家族・家庭生活】 ○自分の成長と家族・家庭生活	10	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">技 術 科</div>
	【B 食生活】 ○人間にとっての食事 ○食品と栄養素		
5	○中学生に必要な食事	11	
6	○日常食の調理と地域の食文化	12	
7	【生活の課題と実践（夏休みの課題）】 ○バランスのとれた食事づくり計画	1	
8	○バランスのとれた食事づくり発表	2	
	○日常食の調理と地域の食文化		
9	【B 住生活】 ○人間にとっての住まい ○生活に必要な住空間 ○自然とともにある住生活 ○安全で健康的な住生活 ○持続可能な住生活	3	
	前期期末テスト		

## 6 持ち物

- ①毎回準備するもの ⇒ 教科書、ファイル、筆記用具  
 ※ノートは使いません。毎時間プリントがありますので、そちらに記入し、提出してもらい、評価します。  
 ※教科書とファイルは学校に置いておいてよいです。自分で判断して、家庭で学習をする場合は持ち帰ってください。
- ②必要に応じて準備するもの ⇒ 三角巾、エプロン、ハンカチなど ※使う時期が来たら連絡します。

## 7 授業について

- ①技術科と家庭科、それぞれの先生が授業をします。  
 ②1・3年生は、前期に家庭分野、後期に技術分野の学習。2年生は前期に技術分野、後期に家庭分野の学習を行います。

**家庭科は、日々の授業や提出物・作品・レポート・実習のどれもが大事!!**  
**更に、自分自身の生活をふり返り、学んだことを生活に活かしていくことが大切です。**  
**「自分でやって、できた!!」「これができるようになった!!」**  
**という喜びを味わいながら成長していこう!!**